

基礎工学研究科アドミッション・ポリシー

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、基礎工学研究科の理念である「科学と技術の融合による科学技術の根本的な開発、それにより人類の真の文化を創造する」ことに共感する、次のような資質、能力を持つ人を求めています。

<博士前期課程>

【求める人材像】

- (1) 専門分野に関する学士相当の確かな基礎学力を有する人
- (2) 科学と技術を融合しつつ新たな学際新領域を切り開くために必要な幅広い知識を有する人
- (3) 自分の考えを的確に表現し伝えることができる人
- (4) 異なる言語・文化・専門分野を持つ人の意見を理解し、これらの相違を超えて交流できる国際性を有する人

【入学者選抜の基本方針】

上記の能力、資質を有する優秀な人材を国内外から多様な方法により選抜することを入試の基本方針に定めています。このために、一般選抜試験に加えて、推薦入学特別選抜や社会人特別選抜などの多様な選抜試験を実施するほか、留学生向けに年2回の英語特別プログラム選抜と留学生特別選抜を実施しています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜では、専門分野に関する筆答試験、出身大学の成績証明書等により(1)(2)の能力を、面接試験、英語能力の証明書類等により(2)～(4)の能力を評価します。推薦入学特別選抜、社会人特別選抜では、研究領域等希望調査書、出身大学の成績証明書等により(1)(2)の能力を、口述試験、英語能力の証明書類等により(2)～(4)の能力を評価します。留学生特別選抜では、筆記試験、出身大学の成績証明書等により(1)(2)の能力を、口頭試問、日本語能力および英語能力の証明書類等により(2)～(4)の能力を評価します。英語特別プログラム選抜では、口頭試問、および卒業論文の概要・研究計画書・出身大学の成績証明書・英語能力の証明書類等の提出書類により、(1)～(4)の能力を総合的に評価します。

<博士後期課程>

【求める人材像】

- (1) 専門分野に関する修士相当の最先端かつ高度な専門性と技能を有する人
- (2) 科学と技術を融合しつつ学際新領域を切り開くために必要な高度で幅広い学識を有し、社会・学問における課題について複眼的・俯瞰的な思考ができる人
- (3) 異なる言語・文化・専門分野の相違を超えて、科学と技術の融合や複合学際領域開拓の観点から、社会・学問における本質的かつ複雑多様な課題を議論し交流できる高度な国際性を有する人

【入学者選抜の基本方針】

上記の能力、資質を有する優秀な人材を国内外から多様な方法により選抜することを入試の基本方針に定めています。このために、一般選抜と社会人特別選抜を年2回実施するほか、留学生向けに英語特別プログラム選抜を年2回実施しています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

一般選抜、社会人特別選抜、英語特別プログラム選抜では、口頭試問、および修士論文の概要・研究計画書・出身大学の成績証明書・英語能力の証明書類等の提出書類により、(1)～(3)の能力を総合的に評価します。